

Oshu Heritage

No.46

ーとぎを越え
受け継がれるものー

黒滝渓谷

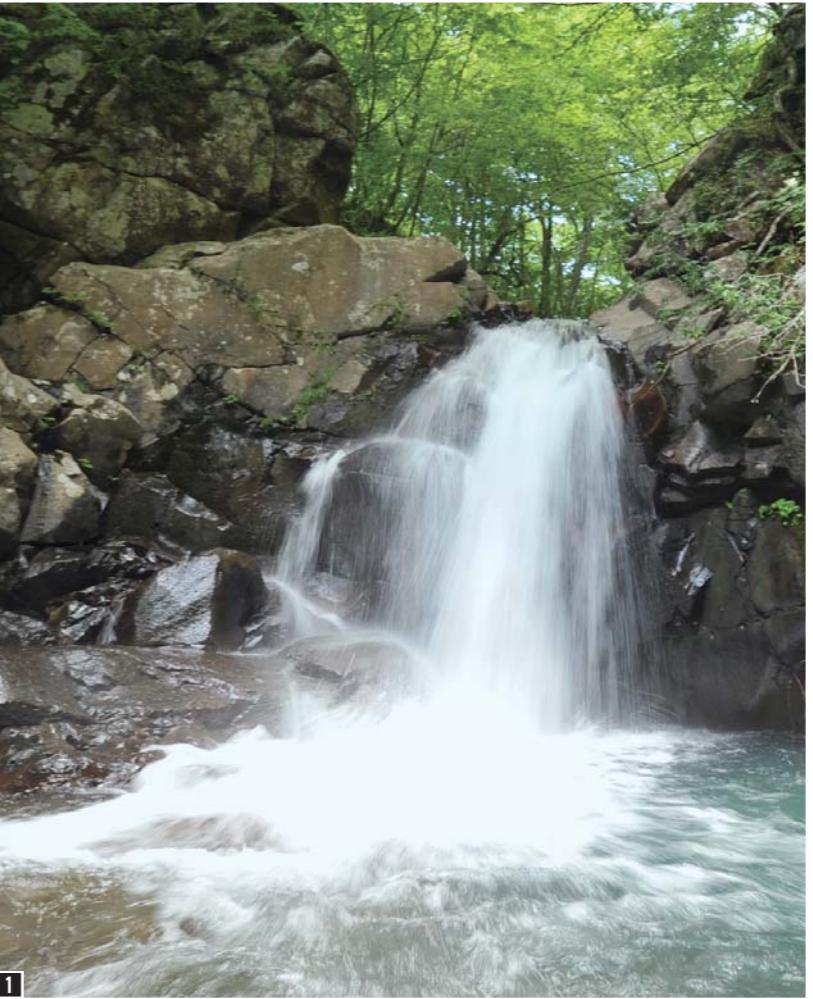
＝「又岳国有林（衣川区）」＝

黒滝温泉“のぞみの湯”から山手に市道を2キロほど進み、分かれ道から南股川に沿って、さらに林道を4キロほど進むと黒滝がある。

南股川は、山里に清らかな山水を送る衣川の支流。岩山特有の渓谷を形成する上流は、ブナを中心とした原生林に覆われ、いくつかの滝が存在する。中でも黒滝は、両岸15メートルほどの岩盤に挟まれ、切り立った岩の間から流れ落ちる滝の勢いは壮観。深い滝壺に、大粒の水しぶきが舞い立つ。

平成20年6月14日に発生した岩手宮城内陸地震の影響で、滝壺直下の岩が崩れ、その形状に変化を及ぼした。しかし、滝の勢いは以前と変わりない。

初夏を迎え、青々と生い茂る木々の緑と黒い岩肌に舞い上がる白い水しぶき。そのコントラストは、見る者を魅了する。豊かな山水を送ってきた黒滝は、今後も絶えず地域を潤し続ける。



- ① 5メートルほどの落差がある黒滝。水しぶきを上げながら勢いよく滝壺に水を打ち付ける
② 黒滝渓谷へ通じる林道の手前にある黒滝温泉“のぞみの湯”。ラドン含有量が豊富で、美肌効果があるといわれる温泉



おうしゃう

Vol.101 7
2014

□発行日／7月10日

○

□発行／奥州市

〒023-8501 奥州市水沢区大手町1-1 □電話／0197-24-2111 □編集／総務企画部政策企画課

□印刷／鈴木印刷(株)



※この広報紙は再生紙と植物油を使用しています。

※この広報紙は奥州市のホームページでもご覧いただけます。【本紙1部の印刷費用は約33円です。】

広告